

～人と人とをつなぐ情報機関紙～

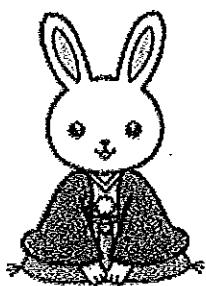
人づくりネットワーク

メリーゴーランド

2011年
あけましておめでとうございます



本年もどうぞよろしく
お願いします！



2011
WINTER
Vol.

28

①今回の「たいこ

すべての人が暮らしやすいまちを目指して

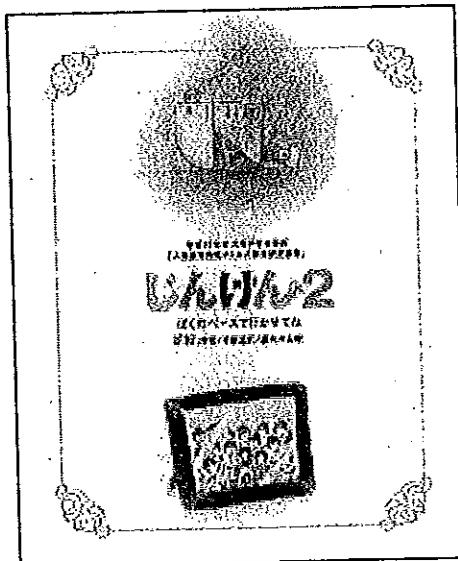
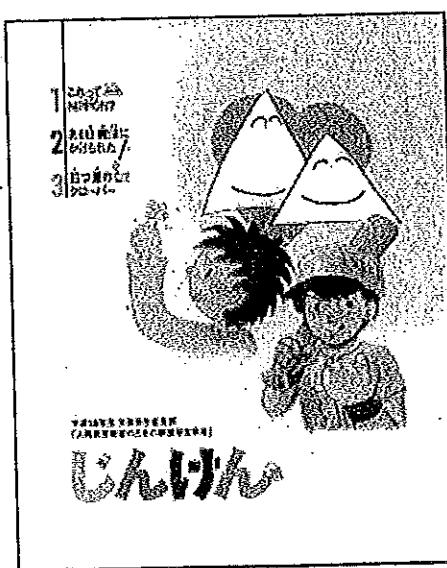
～～田原人権ファンクション委員会～～

すべての人々の人権が平等に尊重され、差別や偏見のない社会の実現を願い活動しています。平成20・21年度、文部科学省の委託事業として障害者の人権教育を推進するための教材として絵本とリーフレットの作成や講演会を開催しました。今年度は作成した教材などを使って推進活動および講演会を行っていきます。

《絵本》

市内の図書館、小中学校、保育園、幼稚園、医院、歯科医院などに配布しています。スクリーンに映して読み聞かせをしたい方には絵本をデータ(CD)にしていますので、生涯学習課へお問合せください。

絵本は市内の図書館で借りることができます、販売はしていません。



•これってNIPPON?

•ある日魔法にかけられた

•四つ葉のクローバー

※3つのお話が収められています。

•ぼくのペースで行かせてね

•逆転

(停電／手話通訳／勝利の女神)

※2つのお話です。「逆転」は3つのエピソードに分かれています。

《リーフレット》



私たちには、何気なく「ふつう」という言葉を使いますが、その「ふつう」の線引きについて考えてみませんか？

私たちの心の中に、「多数であるものが正常・ふつうで、少數のものは特殊」と考えて、壁を作ってしまうことがあります。私たち一人ひとりが、命を大切に思い、お互いの違いを認め、理解し協力していくことで、この壁は低くなり、誰もが当たり前に生きていくことが容易になります。

(リーフレットから抜粋)

《講演会》

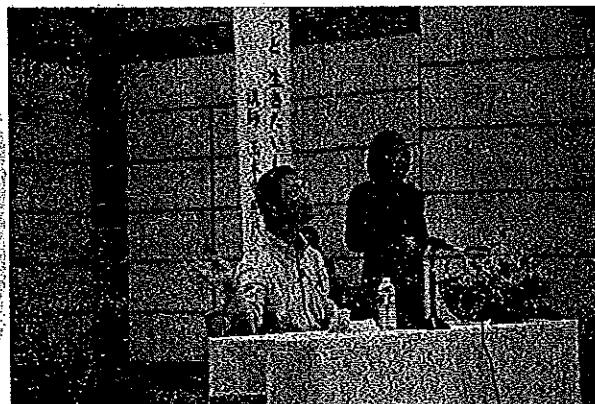


平成20年度
演題

「すべての人が暮らしやすいまちに」

講師：野沢和弘氏

(毎日新聞夕刊編集部長) ※講演会當時



平成21年度
演題

「みんな、きらっと生きたいじゃん」

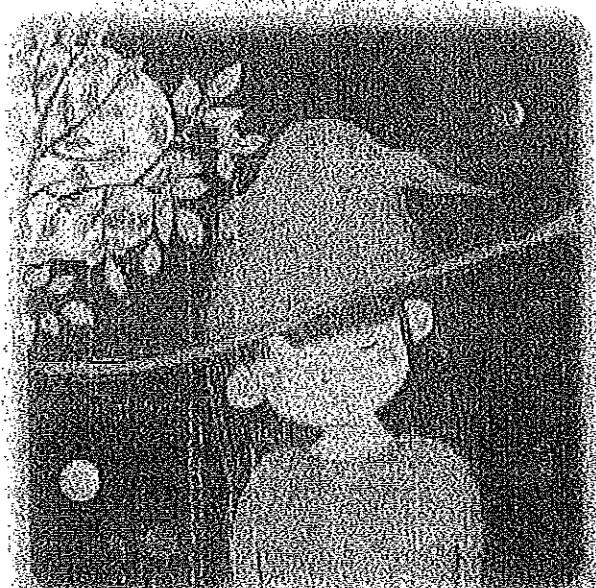
講師：玉木幸則氏

(自立センター「メインストリーム協会」副代表
NHK教育テレビ「きらっといきる」に出演)

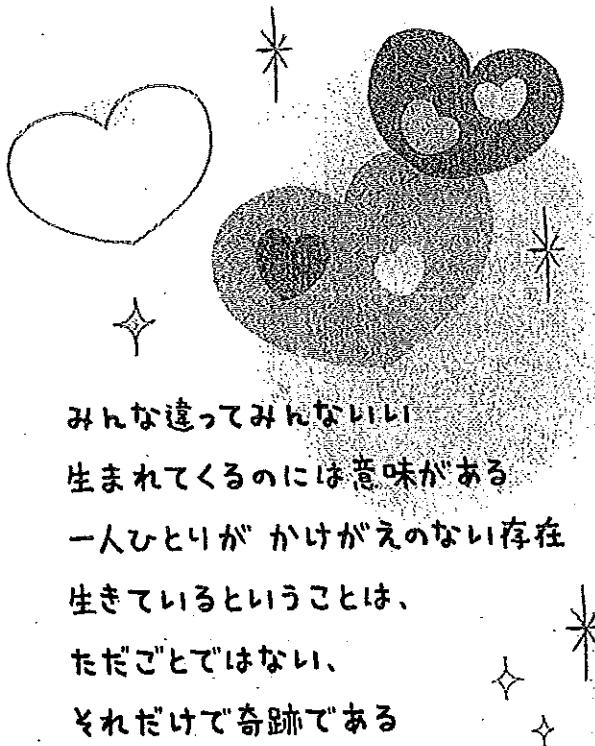
平成22年度 田原人権ファンクション委員会企画講演会

みんな そのまま 素敵

みんなが大切な存在であること…
命の大切さ…一緒に感じてみませんか



絵:山元加津子「魔女・モナの物語(青心社)より」



みんな違ってみんないい
生まれてくるのには意味がある
一人ひとりがかけがえのない存在
生きているということは、
ただごとではない、
それだけで奇跡である

講師 山元 加津子さん

石川県生まれ 富山大学理学部卒 特別支援学校教諭
教師、主婦、母親、作家の四役をこなしながらも、子どもたちに教えてもらった
「みんなそのままが素敵。色々な人がいて当たり前。すべてのことには意味がある…」
ことを伝えるため、日本全国で講演活動を行っている。
その活動は2本の映画にむしり、書き続けている著書・共著は20冊を超える。
著書「本当のことだから」「魔女・モナの物語」「きいちゃん」「ゆうき君の海」など
トキュソナリー映画「1/4の奇跡～本当のことだから～」「宇宙の約束～いのちが紡ぐ愛の詩～」
HP「なんばほの仲間たち」<http://www005.upp.so-net.ne.jp/kakko/>

手話通訳・要約筆記

平成23年2月12日(土)
13:30~15:00 (13:00開場)
入場無料

入場申し込み●必ずしも申し込みが必要ではありませんが、できるだけ事前にお申し込みをお願いします。

(当日会場にお越しいただいてもがまいません)

(先着10名)1月20日㈭までに

生涯学習課までお申し込み下さい。

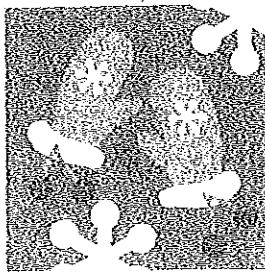
※文化ホールの椅子席もご利用いただけます。

託児サービス

お申し込み・お問い合わせ 田原市教育委員会 生涯学習課 TEL.0531-23-3531 / FAX.0531-22-3811

主催・田原市、田原市教育委員会 共催・田原市手をつなぐ育成会 主管・田原人権ファンクション委員会
後援・田原市社会福祉協議会、田原市人権擁護委員会、あつみNPOネットワーク

イベント情報



今年も田原市の市民活動団体が集まる2つのイベントに、メリーゴーランドも出展する予定です。内容はパネル展示による活動紹介、リサイクルバザー、蜻蛉玉アクセサリー販売、人と人とをつなぐワークショップなどを行う予定です。皆さん、お誘いあわせの上、ご来場ください。

第4回 しみんのひろば

日時：平成23年1月30日（日）10：00～15：00

場所：田原市田原文化会館多目的ホールほか 参加費：無料

今回は、講演会、東三河どすごい交流会など内容盛りだくさんです。

お問い合わせ：田原市役所 市民協働課

TEL 0531-23-3504 FAX 0531-23-0180

第8回 あつみNPOのつどい

日時：平成23年2月6日（日）10：00～16：00

場所：田原市渥美文化会館

講師：中谷彰宏（作家）

テーマ「人を助けることは、自分を助けること」

参加費：無料

主催：あつみNPOネットワーク

問合せ：あつみNPOネットワーク事務局 090-9226-1997（北原）



当日は、午前10時からNPO団体の活動発表や、バザー、模擬店、もちつきなども行っていて、1日中楽しめるイベントになっています。



☆読者会員からの投稿です

「このごろ思うこと」

曾我 洋秀（豊橋市在住）

前回永井さんより原稿を依頼されましたが、ブリリアントの藤田一夫さんの、「免疫力の高め方」に差し替えてしました。申し遅れましたが、ブリリアントの世話人・引きこもりの自立支援をさせていただいております鍼灸師の曾我と申します。この道に入りまして35年がたとうとしております。20代後半から30代は老人福祉に関わってまいりました。

50代に差し掛かろうという時に、冒頭にも出てきました免疫という言葉とともに、2004年だと思いますが、免疫革命 安保徹先生（新潟大学大学院教授）に出会いまして2007年には同じ会にお誘いいただき現在に至ります。先生のご都合が良ければ2011年に豊橋で講演会を開く予定であります。

この仕事をしておりますことは、病名が増えたなと思われること、特に難病が増えました。この5年は安保先生の本を教科書に勉強会を開かせていただいておりますが、多い月には4週連続なんてこともあります。勉強会には難病の方もみえておられますが、免疫力を高めれば治らないまでも上手に付き合っていけるようになります。

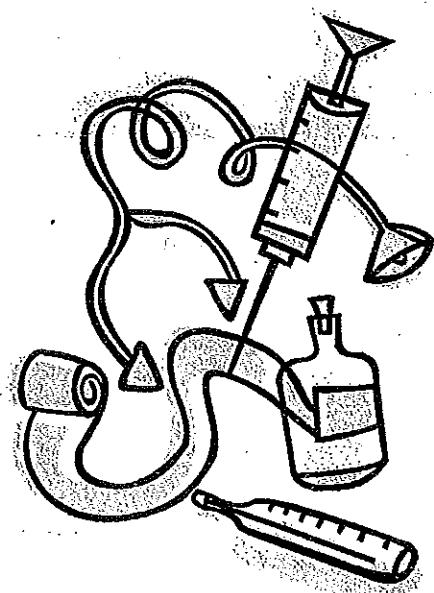
今年も胃がん、リンパ管腫の治療を始めて3年過ぎお礼をいただきました。それとともに昨年に続きブリリアントの卒業生を出すことができてありがとうございます。最近は病気になるとあわててしまい、病気と闘ってしまいかねません。それならば？と思われるが最後に安保先生の免疫進化論という本の初めにからを読んでみたいと思います。

それぞれの民族は長い歴史を経て、自然と融和したり開発したりして、より楽に生きられる生き方を模索してきた。その結果、民族特有な文明、習慣、道徳、宗教が生まれてきたといえる。日本の大部分は温帯モンスーン域に位置し四季の変化に富んでいて、人々は穏やかな生き方ができる自然環境にある。雨の多い地域に住めば気持ちが鎮まる民族性が培われるし、雪が多いと人々は忍耐強くなるであろう。このようにして生成してきた日本民族も明治維新や第二次世界大戦等の多くの国際社会激変に伴い、それまで経験したことのない西洋文明、一神教文明、科学文明などに遭遇した。日本人の培った感覚で西洋医学が取り入れるとそこには思わぬひずみが生じることになる。例えば、日本人が薬と言えばそれは長い間体に優しい生薬であったことであろう。このような感覚で西洋医学が手にした薬（化学物質）を服用すれば、ありがたがるあまりに、激しい作用物質をとるはめになる。降圧剤、コレステロール降下剤、抗不安剤、

消炎鎮痛剤などは本質的には代謝を阻害し、薬物賭いうよりは生体毒としての意味合いの方が強い。本来期間を限定して使用しなければならない生体毒を、あたかも優しい生薬のように服用したり処方して破たんしているのが、日本人であり日本の医療といえる。では、これから日本人の役割、あるいは日本人の作る医学の役割は考えられないのだろうか。私には、ただ西洋医学と日本人の感性のゆがみうろたえるのではなく、新しい方向性があるようと思われる。それは、自然の摂理に根ざして生体反応を理解し、病気の成り立ちを知り、病気から逃げる時の反応を知ることであろう。人間も宇宙の分身であり、自然の摂理の中で生きて土にかえる。このような理解から出発した医学は考えられないだろうか。自然の征服よりも自然との融和を民族の歩みとしてきた日本人が、世界で最初に新しい医学や医療を生み出す可能性もあるのではないか。

それを可能にするキーワードは、全身を統合するシステムの中にあると思う。自律神経、白血球、体温、循環、精神活動・・・、これらすべての連関である。

ずいぶん難しい話になってしましましたが、今年も少しでも健康のお役に立てたらと思っております。ありがとうございました。



情報をお寄せください

この通信は、4・7・10・1月に発行します。伝えたい体験談や、団体・グループなどの活動紹介、イベント開催のお知らせ等がありましたら、世話人まで連絡ください。

ご支援・ご協力をお願いします

この通信作成および活動は皆様方の寄付によって賄われております。年間一口500円以上の活動協力費を直接世話人に渡すかもしくは下記の郵便振込口座に入金してください。また未使用切手500円以上相当分、リサイクルバザーに出品する物品等も受け付けております。

通信一部売りは100円の活動協力費になりますのでよろしくお願いします。

編集後記

今年のお正月は3が日、久々にのんびりゆったりと過ごすことが出来ました。と言ってもほとんど寝正月ではありました。今まではスーパーのお仕事で年末年始は多忙で、朝早くからの勤務で正月休みは元旦だけでした。スーパーでの仕事がなくなった分、家にいる時はついつい食べ過ぎてしまい、その上運動もしていなかったから、体重を測るのが恐くなっていました。年齢も増していく体力も衰えていくので、無理をしない程度で今年も頑張っていきたいと思います。今年も皆様方のご支援とご協力をお願いします。(永井和子)

「人と人とをつなぐ情報機関紙 人づくりネットワーク メリーゴーランド」
通巻第28号(年4回発行)
発行■人づくりネットワーク メリーゴーランド
世話人■永井 和子 連絡先■090-1724-6948
Eメール■kazun-1976@tees.jp

☆ 活動協力費の郵便振込先

郵便振替口座 00880-0-95714

加入者名 「人づくりネットワーク メリーゴーランド」
(お一人様何口でも構いません。あなたの気持ち次第です)